EL フラットインシュレーション吊バンド　施工手順書

結露防止を目的とした商品ですので、施工手順は必ず守って下さい。　※ 保温筒２０t～５０t まで共通です。

【製品全６パーツ説明】　　（納品時荷姿）



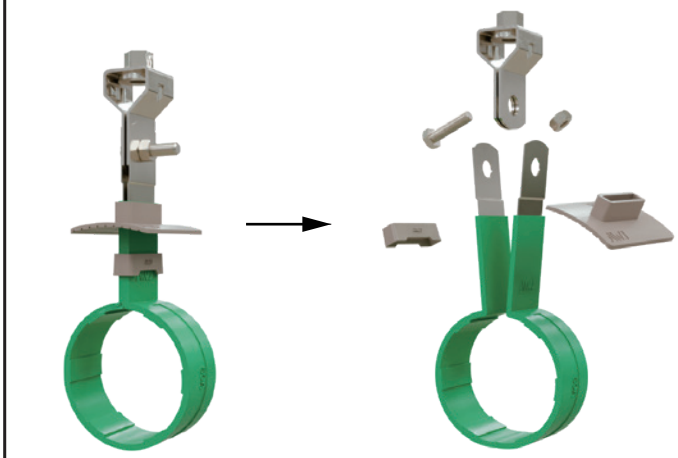
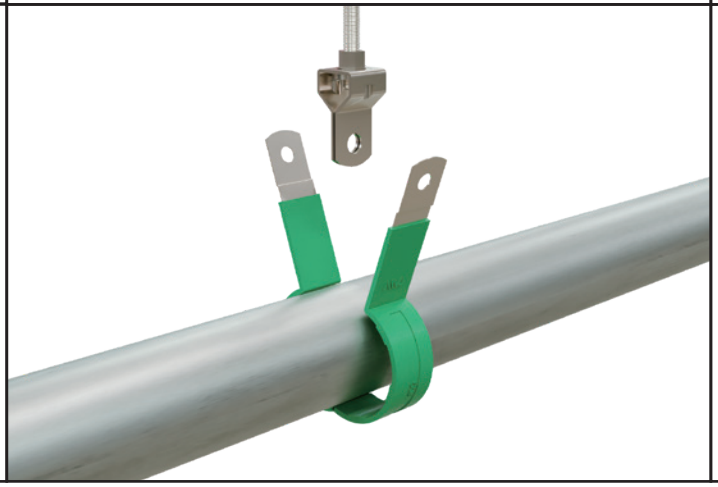
② Gap Pad(ギャップ パッド)

Gap Pad を使用することで、
保温筒と支持金具と隙間を無くし
外気からの干渉を抑えて結露を防止
また、内部から放出される冷気を遮断する

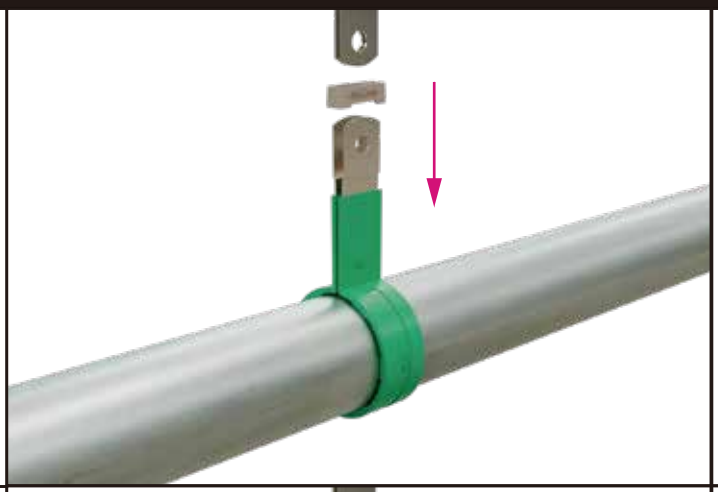
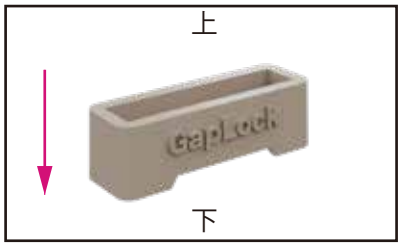
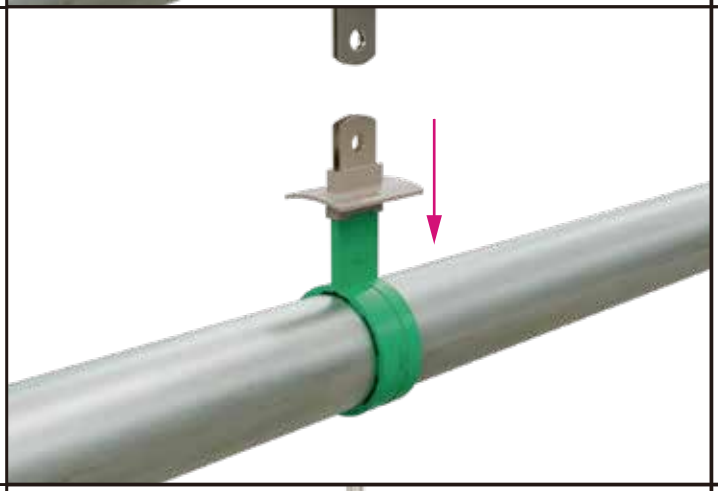
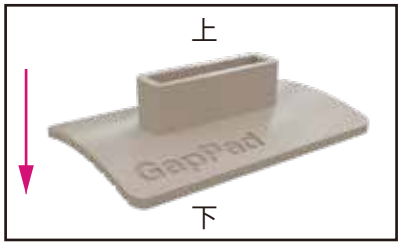
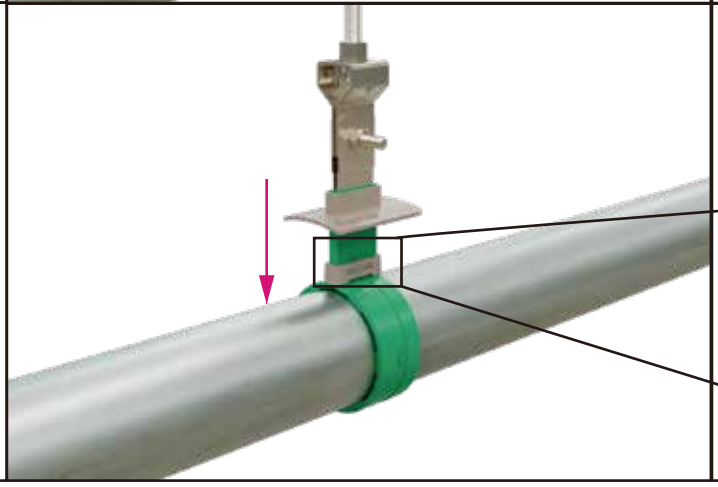
① GapLock(ギャップ ロック)

Gap Lockを使用することで隙間を
無くし外気との干渉を抑えて結露を防止
※ GapLockはパイプに装着するまで
は、一番下へ下ろさないで下さい。
ロックがかかる可能性があります。

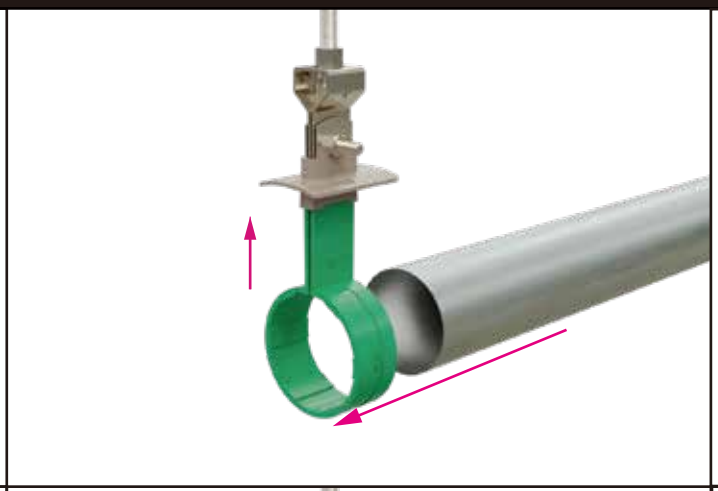
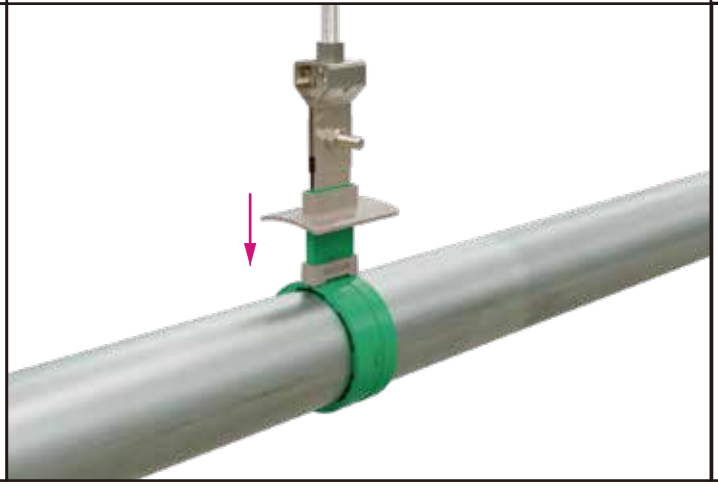
※当製品は材質の特性上、ガソリン・灯油・トルエン・キシレンなど　揮発性の高い油に長時間浸すと膨潤・変色します。
耐油性に関する情報は別途お問い合わせください。

施工内容		
1		パイプに吊バンドを装着するため、部品を分解します。 ボルト、ナット、タンバックル、②ギャップパッド、 ①ギャップロックを取り外してください。
2		タンバックルを全ネジに装着し、吊バンドをパイプに 取り付けます。 吊バンドは、軽く力を加えるだけで開閉できます。

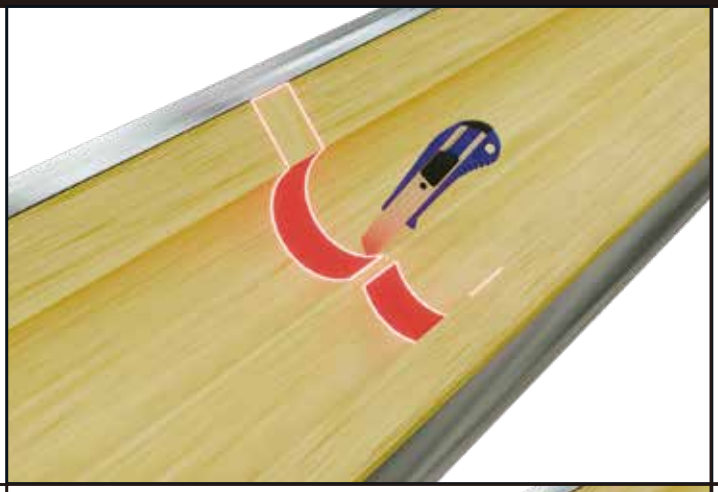
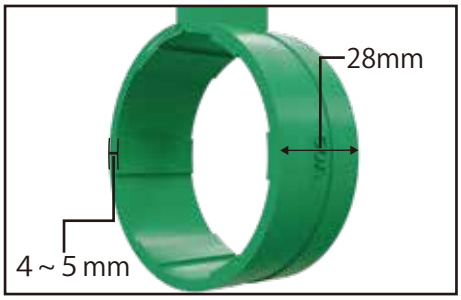
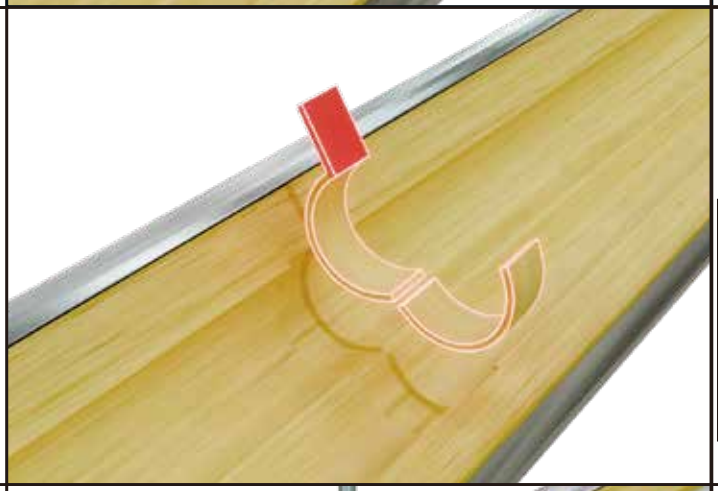
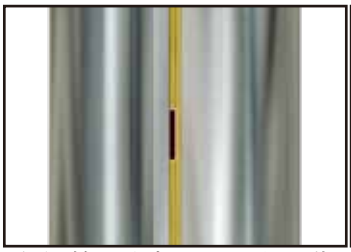
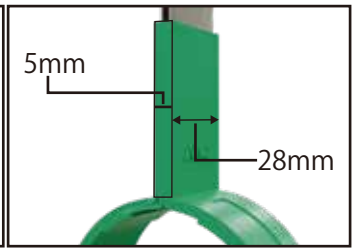
EL フラットインシュレーション吊バンド　施工手順書

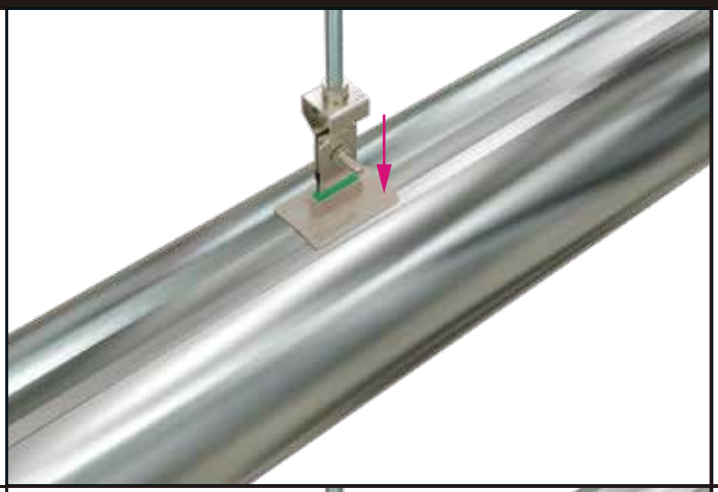
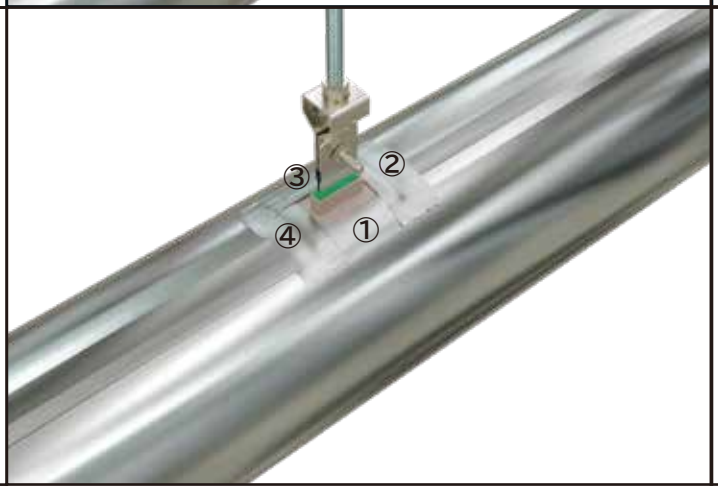
施工内容		
3		吊バンドを閉じ、タンバックルとの位置関係を確認します。その後、①ギャップロックを上から挿入し、樹脂部上部の位置まで下げてください。※1  こちらの商品は上下があります。画像と同じ向きで挿入して下さい。
4		②ギャップパッドを上から挿入し、①ギャップロック上端の位置で仮置きします。※1  こちらの商品は上下があります。画像と同じ向きで挿入して下さい。
5		バンド位置を微調整しながら、タンバックルと吊バンドをボルト・ナットで規定トルクにて締め付けます。規定トルク：4.5 Nm
6		①ギャップロックを一番下まで下げます。 AWJ ロゴがすべて見える位置まで下げることでロックされ、外れなくなります。※2 

施工内容		
7		配管施工完了

スライドして施工行う場合		
1		①ギャップロックおよび②ギャップパッドを一番上まで上げた状態で、パイプをスライドさせてください。
2		①（ギャップロック）は一番下まで下げます。 ②（ギャップパッド）は上端の位置で仮置きします。

保温筒施工内容

8		隙間を無くす為に保温筒を吊バンドの形状に合わせて切り抜きします。 （幅は２８mm、深さは４～５mm 程度です。） 
9		保温筒から、吊バンドの厚み分を切り除きます。 この際、バンド上部に接触する保温筒は片面のみ取り除いてください。切り除く厚みは概ね 5mm とします。   保温筒を上部から見た画像
10		くり抜いた保温筒をパイプに合わせて被せます。 ※隙間がないことを確認してください。
11		保温筒を閉じて貼り付けます。

施工内容		
12		①ギャップパッドを下げ、保温筒に密着させます。
13		①ギャップパッドと保温筒との間に隙間が生じないよう、上からテープで必ず最低 4 か所を貼り付け固定します。 保温施工完了。

※ 1　② Gap Pad と① GapLockは別途ご購入いただけます。
※ 2　① GapLockを誤ったタイミングでロックしてしまった場合は、マイナスドライバーで少し広げることでロックを解除できます。